

初めての医療通訳ボランティア

日本語が通じない患者と医療者の間でコミュニケーションを助ける「医療通訳ボランティア」。

医療通訳ボランティアとはどんなものでしょう？
医療通訳として活動するためには、どんな勉強や準備が必要になるでしょう？

医師・医学英語教育者として活躍されている押味貴之先生（日本大学医学部医学教育企画・推進室助教）を講師に、ロールプレイを交えて楽しく学びます。



対象：医療通訳に興味があり、初めて学ぶ方。語学力に関わらずどなたでも受講できます。
※過去に受講した方もご参加いただけます。

2016年 **6月25日** (土)

会場：WEST19 5階講堂

札幌市中央区大通西19丁目
地下鉄東西線「西18丁目」駅1番出口すぐ

①『初めての医療通訳ボランティア 入門編』 10:00～13:00 (定員 100名)

医療通訳の基礎（手順、ルール、基礎用語など）について楽しく学びます。

②『初めての医療通訳ボランティア 実践編』 14:30～17:30 (定員 100名)

①で学んだ内容をもとに、英語での対応をロールプレイ形式で実習します。

※①、②の連続受講を想定した内容ですが、①または②だけの受講も可能です。

申込方法：6月13日(月) 9:00 受付開始 **電話：011-211-2105** まで

※FAX:011-232-3833, メール: tabunka@plaza-sapporo.or.jp での申し込みの場合は、希望講座名、お名前、電話番号、メールアドレスを明記してください。
札幌国際プラザからの返信をもって、受付完了とします。

問合せ先：(公財)札幌国際プラザ 多文化交流部 [TEL:011-211-2105](tel:011-211-2105) (月～金 9:00-17:30)



講師 押味 貴之 (おしみ たかゆき) 日本大学医学部医学教育企画・推進室助教。

「医療英語」「医療通訳」「外国人医療」をキーワードに教育・啓蒙活動に携わる。日本大学医学部で国内トップレベルとなる6年一貫医学英語教育を実施する他、米国医師資格試験(USMLE)の指導や医療通訳の指導に従事している。日本医学英語教育学会理事。日本大学以外でも慶応大学、千葉大学、東京女子医科大学、岐阜大学、金沢医科大学など数多くの医学部で医学英語教育を実践。立命館大学国際関係学部、旭川医科大学医学部、Macquarie 大学大学院翻訳・通訳学科卒。

予告：平成28年11月5日(土) 医療通訳ボランティアセミナー「初級編」「スキルアップ編」を開催。

申込詳細は今夏以降、札幌国際プラザウェブサイト等でお知らせします。